

以下のリストは、特定の製品に適用される追加の利用条件を示す。各製品項目は、かかる製品に適用される 1 つまたは複数の脚注を示す。脚注は、本契約の条件を補足する。各脚注の定義はリストの後に記されている。注文関連ドキュメントで特に断りのない限り、エクステンション製品の利用条件は、対応する製品の利用条件に準拠する。マスター契約での定義に加え、以下の定義を製品別利用規約に適用する。

- 「認証」とは、ArcGIS Platform ロケーションサービスへのアクセスを可能にする Esri 提供のメカニズムをいう。セキュリティと認証ドキュメントを参照してください (認証メカニズムの現在のリストは <https://developers.arcgis.com/documentation/mapping-apis-and-services/security/>) を参照)。

デスクトップ製品

- ArcGIS Desktop (Advanced、Standard、または Basic) (26)
- ArcGIS Earth (20、65)
- ArcGIS Explorer Desktop (20)
- ArcGIS for AutoCAD (20)
- ArcPad (13)
- ArcReader (20)
- ArcGIS for Personal Use (3、26)

サーバー製品

- ArcGIS Enterprise
 - Standard または Advanced (17、21、23、31)
 - Workgroup Standard または Advanced (21、23、26、28、29、30)
 - ArcGIS GIS Server (Standard または Advanced) (31)
 - ArcGIS GIS Server Basic (31、39)
 - ArcGIS GIS Server Workgroup (Standard または Advanced) (26、28、29、30)
 - ArcGIS GIS Server Workgroup Basic (26、39)
 - ArcGIS Maritime (2)
- ArcGIS Enterprise オプション機能サーバー:
 - ArcGIS Image Server、ArcGIS GeoEvent Server、ArcGIS GeoAnalytics Server、および ArcGIS Notebook Server Standard (31)
- ArcGIS Enterprise Workgroup オプション機能サーバー:
 - ArcGIS Image Server、ArcGIS GeoEvent Server、ArcGIS GeoAnalytics Server、および ArcGIS Notebook Server Standard (4)
- ArcGIS Business Analyst Enterprise (17、21、23、31)
- ArcGIS World Geocoder Basic (67)

Developer 製品

- ArcGIS Developer Subscription
 - すべてのプラン (16、66、68、78、89、91、97、103)
 - Builder、Professional、Premium、または Enterprise プラン (24、26、77、92)
 - Essentials プラン (90)
 - ArcGIS AppStudio Developer Edition (11、16、19)
 - ArcGIS Runtime SDK for Android、iOS、Java、macOS、.NET、または Qt (16、19)
 - ArcGIS Engine Developer Kit および Extensions (16、19、22、26)
 - ArcGIS API for JavaScript (16、63、64)
 - ArcGIS CityEngine SDK および Procedural Runtime (105、19)
 - ArcGIS Maps SDK for Unity、または Unreal Engine (15、62、64)
 - ArcGIS Maps SDK for Java、Kotlin .NET、Qt、または Swift (16、19)
 - ArcGIS Maps SDK for JavaScript (16、63、64)

- ArcGIS Runtime Deployment License for Android、 iOS、 Java、 Kotlin macOS、 .NET、 Qt、 または Swift
 - Lite (15、 62、 64)
 - Basic または Standard (1、 14、 15、 18)
 - Advanced (14、 15、 18)
- ArcGIS Engine Deployment License for Windows/Linux および Extensions (15、 22、 26)
- Esri File Geodatabase API (47)

モバイル

- ArcGIS Navigator (14)

その他

- ArcGIS Hub (85)
- ArcGIS Indoors (86)
- ArcGIS Indoors Maps (99、 100、 101)
- ArcGIS Indoors Spaces (100、 101)
- ArcGIS IPS(100、 101)
- ArcGIS Maps for Adobe Creative Cloud 相補的ユーザー (74)
- ArcGIS Insights (17)
- Site Scan for ArcGIS Operator ライセンス (32、 33)
- ArcGIS GeoAnalytics Engine
 - コネクテッド、追加コア時間プラン (103)
 - ディスコネクテッドプラン (27、 102)

Online Services

- ArcGIS Online のサブスクリプションは、複数の販売プログラムで入手できる。
 - 商業販売、エンタープライズ契約、および政府プログラム (23、 66、 68、 69、 70、 77、 82、 96、 103)
 - 教育プログラム (23、 66、 68、 69、 70、 71、 82、 96、 103)
 - 非営利プログラム (23、 66、 68、 69、 70、 71、 82、 96、 103)
- パブリックプラン (66、 68、 74、 75、 76、 80)

以下のカテゴリに入るお客様にはこれらの追加権利がある。

 - 商業販売 (72)
 - エンタープライズ契約 (72)
 - 行政機関 (72)
 - NGO/NPO (72)
 - プレス/メディアプログラム (72)
 - 教育プログラム(71)
- ArcGIS AEC Project Delivery Subscription (83)
- ArcGIS Velocity (103)
- ArcGIS for Microsoft Planetary Computer—Pro Machine (104)

脚注：

1. ダイレクトコネクションによるエンタープライズ ジオデータベースの編集には使用できない。
 2. ナビゲーションには使用しないものとする。
 3. 個人の、非商用使用に対してのみ使用許諾される。
 4. – 4コアサーバー1つに限定
 - 独立したマシンにインストール可能
- 5–10. 未使用
11. ArcGIS AppStudio Developer Editionで構築されたアプリケーションは、ArcGIS Runtime Deployment License の利用条件に従うものとする。
 12. 未使用
 13. 二重用途ライセンスとして使用が許諾される。

14. ナビゲーション目的での使用が許可される。
15. デプロイメント ライセンスとして使用が許諾される。
16. お客様はSDKまたはAPIを使用して付加価値アプリケーションを作成し、輸出規制で禁じられていない場所で使用するエンド ユーザーまたは第三者に対して、当該付加価値アプリケーションを配布およびライセンス付与できるものとする。
17. お客様は本製品に含まれる **Oracle Instant Client** ライブラリまたはそのドキュメンテーションを再配布してはならない。 **Oracle** は、お客様の **Oracle Instant Client** ライブラリ利用に関してのみ、本契約の第三者受益者である。 統一コンピューター情報取引法 (UCITA) は、お客様の **Oracle Instant Client** ライブラリの使用には適用されない。
18. ライセンスストリングをライセンス有効化テクノロジーとして使用する場合、デプロイメント ライセンスは、ユーザー1人、デバイス1台、付加価値アプリケーション1つにつき1つ必要である。
19. ライセンスを、インターネットベースまたはサーバーベースの付加価値アプリケーションの開発に使用することはできない。
20. 再配布ライセンスとして使用が許諾される。
21. 指定ユーザーライセンスの使用に関する詳細は、マスター契約 <https://www.esri.com/legal/software-license> を参照してください。
22.
 - a. 1 台のマシン上で **ArcGIS Engine** アプリケーションを実行する権利を取得するためには、エンドユーザーは、**ArcGIS Engine for Windows/Linux** ソフトウェアまたはその他の **ArcGIS Desktop** ソフトウェア (**Basic**、**Standard**、**Advanced**) のいずれかのライセンスを取得しなければならない。また、
 - b. **ArcGIS Engine** 付加価値アプリケーションを実行する場合、**ArcGIS Engine for Windows/Linux** エクステンションを **ArcGIS Desktop** ソフトウェアと組み合わせて使用してはならない。 単独使用のユーザーは、当該エンドユーザーのみが使用するマシン1台に複数の **ArcGIS Engine** 付加価値アプリケーションをインストールすることができる。
23. システム間通信
 - a. お客様は、**Basic** サービス ログインを使用して、**ArcGIS Enterprise** もしくは **ArcGIS Online** からお客様の組織内にある他のサードパーティ製エンタープライズ ビジネス システムに対して、一方向の読み取り専用の通信を行うことができる。 お客様は、**Esri** が実際のサービス ログイン資格情報を実装するまで、**Viewer** 指定ユーザーの資格情報またはレベル 1 の指定ユーザーの資格情報を **Basic** サービス ログインのために使用できる。 **Basic** サービス ログインのために使用される個別 **Viewer** 指定ユーザーの資格情報またはレベル 1 の指定ユーザーの資格情報はシステム間の連携のみを目的として使用でき、指定ユーザーがシステムにアクセスするために使用することはできない。
 - b. お客様は、**Standard** サービス ログインを使用して、**ArcGIS Enterprise** もしくは **ArcGIS Online** とお客様の組織内にある他のサードパーティ製エンタープライズ ビジネス システム間で、双方向の読み書き可能な通信を行うことができる。 お客様は、**Esri** が実際のサービス ログイン資格情報を実装するまで、**Editor** (またはそれ以上の) 指定ユーザーの資格情報またはレベル 2 の指定ユーザーの資格情報を **Standard** サービス ログインのために使用できる。 **Standard** サービス ログインのために使用される **Editor** (またはそれ以上の) 指定ユーザーの資格情報またはレベル 2 の指定ユーザーの資格情報はシステム間の連携のみを目的として使用でき、指定ユーザーがシステムにアクセスするために使用することはできない。
24. ソフトウェアは、プロトタイプ付加価値アプリケーションの開発、テスト、デモンストレーション、およびマップ キャッシュの作成のみを目的として使用できる。 顧客は、付加価値アプリケーションとマップ キャッシュを、**ArcGIS Enterprise** ステージング サーバー ライセンスおよびデプロイメント サーバー ライセンスで使用できる。 ソフトウェアおよびデータは、**Builder** 以上のプランを契約しているすべての **ArcGIS Developer Subscription** 契約者が使用する目的で複数のマシンにインストールしてもよい。 他のすべてのソフトウェアは、単独使用ライセンスとして使用が許諾される。
25. 未使用
26. ジオデータベースは、お客様のデータの 10 ギガバイトに制限される。
27. 第三者にサービスを提供して、収益を得るのに使用することはできない。

28. ArcGIS Enterprise WorkgroupまたはArcGIS GIS Server Workgroupアプリケーション以外のアプリケーションの同時使用はエンドユーザー10名に制限される。この制約事項には、ArcGIS Desktopソフトウェア、ArcGIS Engineソフトウェア、およびArcGIS Enterprise WorkgroupまたはArcGIS GIS Server Workgroupジオデータベースに直接接続するサードパーティ製アプリケーションの使用が含まれる。ウェブアプリケーションからの接続数に制限はない。
29. ソフトウェアには、サポート対象のバージョンのSQL Server Expressが必要である。サポートされるバージョンは、製品のシステム要件とともにEsriウェブサイトに掲載されている。
30. お客様のデータの使用は、最大10ギガバイトに制限される。コンポーネントはすべて、1台のサーバーにインストールしなければならない。
31. フェイルオーバーライセンスが含まれる。
32. このソフトウェアの使用には、ドローンを操縦するためのパイロット免許 (例. FAA、EASA、など) は含まれない。
33. お客様は、このソフトウェアにより収集または処理したお客様のコンテンツを保存するため、このソフトウェアで提供のオンラインストレージを使用することのみ可能とする。
- 34–38. 未使用
39. ArcGIS GIS Server Basic および ArcGIS GIS Server Workgroup Basic では、ArcGIS GIS Server に含まれている編集機能は使用できない。
- 40–46. 未使用
47. お客様は、お客様のエンドユーザーに対し、Esri File Geodatabase APIを使用する付加価値アプリケーションを開発および配布することができる。
- 48–61. 未使用
62. 付加価値アプリケーションは、他の Esri 製品と併用しなければならないものとする。
63. ウェブ デプロイメント用の付加価値アプリケーションは、他の Esri 製品と併用しなければならないものとする。
64. 付加価値アプリケーションと他の Esri 製品を常に併用する場合に限り、付加価値アプリケーションとともに第三者の技術を使用できるものとする。
65. 他の Esri 製品とのみ併用できる。 ArcGIS Earth と他の Esri 製品を常に併用する場合に限り、ArcGIS Earth とともに第三者の技術も使用できるものとする。
66. 有効な有料 Online Services サブスクリプションを利用するお客様のみ、World Geocoding Service が作成した地理座標結果を保存することができる。
67. ジオコードは、年間サブスクリプションにつき、2億5千万件に制限される。
68. お客様は、Infographicsサービス経由でアクセス可能なデータを表示目的にのみ使用できるが、このサービスからいずれのデータも保存することはできない。
69. お客様の組織における事業目的での使用が許可される。
70. お客様の組織における開発およびテストの目的での使用が許可される。
71. 教育機関における教育目的での使用が許可される。
72. お客様の組織における事業目的での使用が許可される。
73. 未使用
74. 個人用途に利用できる。
75. 共有ツールを使用して公的に共有することによってのみ、お客様は第三者による付加価値アプリケーションの使用を許可することができる。お客様は、自らの業務上の使用を目的として付加価値アプリケーションを稼働させるために本サブスクリプションを使用することはできない。ただし、お客様が、教育目的に限定して付加価値アプリケーションを使用する教育機関、認定されたNGO/NPO組織、またはメディアあるいはプレス機関である場合を除く。
76. お客様は、プライベート グループの作成またはプライベート グループへの参加を許可されない。
77. お客様は、第三者の ArcGIS Online または ArcGIS Enterprise 指定ユーザーライセンスでのみ有効な付加価値アプリケーションを第三者に有料で頒布できる。
78. 商用アプリデプロイメントライセンスが含まれる。
79. 未使用

80. 登録された教育機関の学生に対し、教育目的に使用する場合に限り、1つのサブスクリプションを複数の登録された学生で共有し、**Online Services** に直接アクセスすることができる。
81. 未使用
82. 特定の指定ユーザーのみが使用するワークフローを自動化しようとする場合に限り、当該指定ユーザーの資格情報を **ArcGIS API for Python** の自動化スクリプトに組み込むことができる。
83. お客様は、お客様のクライアント(以下「クライアント」)ごとに独立した **AEC Project Delivery Subscription** を使用しなければならない。お客様は、(i) **AEC Project Delivery Subscription** をそのクライアントとプロジェクト作業で協働することのみを目的として使用し、(ii)お客様がクライアントのために遂行するプロジェクト作業で、クライアントが **AEC Project Delivery Subscription** にアクセスして協働できるように、**AEC Project Delivery Subscription** への指定ユーザー アクセスをクライアントに提供できる。クライアントは、それ以外の目的で指定ユーザー ライセンスを使用することはできない。お客様は、クライアントによるこれらの利用条件の遵守について一切の責任を負い、プロジェクト終了時には、クライアントに **AEC Project Delivery Subscription** の使用を確実に停止させるものとする。
84. 未使用
85. **ArcGIS Hub** に付属のソフトウェア ライセンスおよびサブスクリプションは、**ArcGIS Hub** が有効にしたコミュニティイニシアチブをサポートするためにのみ使用できる。お客様は、第三者に、コミュニティ活動への参加のみを目的として **ArcGIS Hub** の指定ユーザーになることを許可できる。お客様は、従業員、代理店、コンサルタントまたは委託業者に、**ArcGIS Hub** からコミュニティイニシアチブを管理、構成、維持およびサポートすることのみを目的として **ArcGIS Hub** の指定ユーザーになることを許可できる。**ArcGIS Hub** に付属のソフトウェア ライセンスおよびサブスクリプションの他の使用は許可しない。
86. お客様は、**ArcGIS Indoors** に付属のソフトウェア ライセンスおよびサブスクリプションを、**ArcGIS Indoors** ドキュメントで定義した **ArcGIS Indoors** の機能を有効にするためにのみ、使用できる。**ArcGIS Indoors** に付属のソフトウェア ライセンスおよびサブスクリプションの他の使用は許可しない。
87. 未使用
88. 未使用
89. お客様は、認証により **ArcGIS Platform** 位置サービスにアクセスする、収益を生む付加価値アプリケーションを、直接または販売経路を通じて、第三者に頒布できる。収益を生むすべての付加価値アプリケーションは、**ArcGIS Platform** 位置サービスへのアクセス時、認証を使用する必要がある。
90. お客様は、開発およびテスト目的で組織内に複数のサブスクリプションを有することができる。お客様は収益を生む、付加価値アプリケーション用に、組織内にサブスクリプションを1つのみ使用することができる。
91. アプリケーション移行—以下に関する付加価値アプリケーションを作成した開発者。
 - a. クライアントの **API (JavaScript 4.x と Runtime SDK (バージョンは問わない)、REST、Esri** のオープンソースマッピングライブラリ、サポート対象の第三者オープンソースマッピングライブラリを含む)は、**2022年4月30日**までに、アプリケーション内で **ArcGIS Platform** ロケーションサービスの使用が必要になる。
 - b. **JavaScript 3.x API** は、**2022年12月31日**までに、アプリケーション内で **ArcGIS Platform** ロケーションサービスの使用が必要になる。
92. お客様は開発内でプライベートグループを作成、またはプライベートグループに参加する、および **ArcGIS Developer Subscription** に含まれる **ArcGIS Online Organization Subscription** をテストすることのみ許可される。
93. 未使用
94. 未使用
95. 未使用
96. お客様は、指定ユーザーによるインタラクティブ、非プログラマティックアクセスについて、**ArcGIS Image** サービスを使用することができる。**ArcGIS Image** サービスのプログラマティック使用(例. バッチ分類、ディープラーニング等、または1回に**10MB**を超えるデータ量のエクスポート)は許可されない。

97. 第三者の付加価値アプリケーションでの使用に API キーを求められるお客様のエンドユーザーは、ArcGIS Developer Subscription から当該の API キーを生成する必要がある。ArcGIS Online アカウントから生成された API キーは、このシナリオでは許可されない。
98. 未使用
99. ArcGIS Indoors Maps に含まれるユーザータイプは、ArcGIS Indoors Maps、ArcGIS Indoors Spaces、および ArcGIS IPS 用の製品ドキュメントで定義した機能を有効にするためのみにライセンス付与される。
100. お客様は、室内マッピング、道案内、ナビゲーション、ルート設定、または位置決めに関連した機能を搭載した ArcGIS Indoors Maps に付属のユーザータイプ別に使用する付加価値アプリケーションのみを開発できる。
101. ArcGIS Indoor Spaces ライセンスには、Workspace Reservations または Space Planner の使用が必要となる。
102. 各ディスクコネクテッドプランは、1つの制作クラスターに限定する。
103. 消費モデルで利用可能な Online Services、または容量を含む。お客様は、適用される Online Services または容量を継続使用できるようにするため、必要に応じて、追加サブスクリプションオプションを購入できる。Esri はお客様のサブスクリプションアカウント管理者にサブスクリプション消費と有効期限について予め通知する。Esri は、サブスクリプション消費が合計割当または前払済の容量あるいは Online Services の 100 パーセントに達した場合、お客様の Online Services または容量へのアクセスを一時停止する権利を留保する。超過分が有効な場合、Esri は、未払い分を月額請求し、お客様は、適用レートで生じた関連費用を支払う責任を負う。Esri は、お客様に滞納額がある場合、お客様による Esri 提供サービスへのアクセスを一時停止する権利を留保する。Esri は、お客様が Esri 提供サービスへの未払い分を清算した時点で速やかに、お客様の Esri 提供サービスへのアクセスを再開する。
104. 仮想 Pro Machines にプレインストールされた ArcGIS Cloud Store コネクションファイル (ASC ファイル) は、他のデバイスにコピーまたはそれ以外で、転送することはできない。
105. お客様は SDK または API を使用して付加価値アプリケーションを作成し、輸出規制で禁じられていない場所で使用するエンドユーザーに対して、当該付加価値アプリケーションを配布およびライセンス付与できるものとする。